

対カンボジア 事業展開計画

2025年 4月 現在

基本方針 (大目標)	2030 年までの高中所得国入りの実現に向けた産業振興と持続的で自立的な経済発展と活力あふれる社会づくりへの支援
---------------	--

重点分野 1 (中目標)	経済成長をもたらす産業の変革と発展												
開発課題 1－1 (小目標)	【現状と課題】 ＜連結性強化＞ 長年にわたりカンボジア経済成長を牽引してきた労働集約型産業は、近年一段と競争環境の厳しさを増しており、更なる経済成長を実現するには、より高付加価値な産業を中心とした産業構造への転換（産業の変革と発展）が必要。産業の変革と発展には、公的投資のみならず民間資金を最大限活用することが不可欠であるが、同国では物理的インフラ・人材・制度が依然として不足しており、陸運、水運、港湾等の物流網の構築を図りながら連結性の強化の推進が必要。連結性のうちデジタルにおいては多様なサービスが生まれつつも、それらを支える通信基盤に脆弱性が見受けられる。 ＜電力・エネルギー安定供給＞ 経済成長に伴う電力需要増加（年平均16.6%拡大）に対する電力供給能力の拡大が喫緊の課題。国内の電力需要の5割以上を占めるプノンベン首都圏では、送配電設備の不足により複数の変電所が過負荷に直面しており、安定的な電力供給に向けては、更なる送配電網の増強と、設備の適切な運用維持管理が必要。また、カンボジア政府は、2050年までの炭素中立社会を実現することを目標に掲げる中、再生可能エネルギーの導入の拡大や、省エネによる効率的なエネルギー利用の推進とともに、電源構成が複雑化する局面において、系統運用技術の向上が急務。						【開発課題への対応方針】 ＜連結性強化＞ 持続的な経済成長の達成に必要な産業振興と外国投資の促進に向けて、質の高い物流インフラ（道路、港湾等）の拡充とともに、国際標準・域内調和的な制度構築（運輸・税関等）を図り、南部経済回廊の改善やFOIPに資する連結性の強化を支援する。併せてインフラ整備・制度構築に必要な行政能力向上等の支援を行う。また、地方部を含めた通信基盤の整備強化・拡張支援を通じ、経済を牽引するデジタルサービスの創出に貢献し、デジタル連結性を強化する。 ＜電力・エネルギー安定供給＞ 経済成長の下支えとなる電力の安定供給を維持するため、都市部における送配電網の強化に取り組むとともに、系統運用・計画能力の向上に向けた支援を検討する。さらに、炭素中立化に資する再生可能エネルギーやLNG燃料の導入促進のための制度整備、脱炭素化に資する新たな技術（水素、アンモニア等）の導入の検討を支援する。						
産業振興に向けた 社会基盤の整備	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	支援額 (億円)	SDGs	備考
	連結性強化プログラム	物流コスト・時間・手続きの低減及び物流サービスの質の向上に向け、南部経済回廊における陸上輸送網の構築や、シハヌークビル港を中心とする港湾施設整備・運営能力向上を支援。	地域中核港・物流ハブ化に向けたシハヌークビル港マスタープラン策定プロジェクト	開発計画	-	-			-	-	4.31	9	
			国道5号線改修計画（スレアマムーバットンバン間及びシソポナーポイベト間）（第二期）	有償					-	177.02	3,9		
			国道5号線改修計画（スレアマムーバットンバン間及びシソポナーポイベト間）（第三期）	有償				-	-	82.93	3,9		
			地方道路連結性向上計画	有償				-	-	236.92	1,3,9,11		
			運輸政策アドバイザー	個別専門家							9	有償勘定技術支援	
			物流改善実施能力向上プロジェクト	技プロ						2.70	9		
			幹線道路における道路交通安全改善プロジェクト	技プロ						4.65	3,9	有償勘定技術支援	
			ドローンと画像解析技術を活用したインフラ整備計画のDX化のための普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業								11	
			カンボジア国物流事業実現にむけたニーズ確認調査	普及・実証・ビジネス化事業								9,11	
			道路交通分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力案件	草の根無償						0.57	9		
			土木・交通安全分野のJICA海外協力隊	JOCV							9,11		
			シハヌークビル港多目的ターミナル整備計画	有償						71.76	8,9,13		

電力・エネルギー
の安定供給プログ
ラム

送配電網の拡張整備など電力安定供給
に向けた取組を行うとともに、炭素中
立化社会実現に向けた政策立案、制度
整備、技術導入等を支援。

シハヌークビル港新コンテナターミナル整備計画	有償		-	-	-	-	235.02	8,9,13	
シハヌークビル港新コンテナターミナル拡張計画（第一期）	有償		-				413.88	8,9,13	
経済社会開発計画（シハヌークビル港のVTS整備計画）	無償		-	-	-	-	11.32	9	
経済社会開発計画（水路測量船建造計画）	無償		-	-	-	-	10.00	9	
経済社会開発計画（電子政府の推進に向けた国立データセンター整備計画）	無償		-	-	-	-	23.00	8,9	
港湾運営アドバイザー	個別専門家		-	-	-	-		9	有償勘定技術支援
シハヌークビル港コンテナターミナル経営・技術向上プロジェクトフェーズ3	技プロ		-	-	-	-	6.10	9	有償勘定技術支援
港湾行政能力強化プロジェクト	開発計画		-	-	-	-	3.90	9	
メコン地域連結性強化のための税関効率性強化プロジェクト	技プロ		-	-	-	-	4.17	8,10,16,17	
運輸交通分野の課題別研修他	課題別研修他		-	-	-	-		8	
炭素中立社会に向けたクリーンエネルギー転換ロードマップ策定プロジェクト	開発計画		-	-	-	-	2.50	7,13	
ブノンベン首都圏送配電網拡張整備計画（フェーズ2）（第一期）	有償		-	-	-	-	38.16	7	
ブノンベン首都圏送配電網拡張整備計画（フェーズ2）（第二期）	有償		-	-	-	-	92.16	7	
ブノンベン首都圏送配電網拡張整備計画（フェーズ2）（第三期）	有償		-				79.88	7	
ブノンベン首都圏送配電網拡張整備計画（フェーズ3）準備調査	協準		-	-	-	-		7	
電力経済・計画アドバイザー	個別専門家		-	-	-	-		7	有償勘定技術支援
電力経済・計画アドバイザー	個別専門家		-					7	有償勘定技術支援
電力・エネルギー分野の課題別研修他	課題別研修他		-	-	-	-		7	

開発課題 1－2 （小目標） 産業多様化と活力 創出	【現状と課題】 ＜高度人材育成＞ 縫製業及び食品加工が製造業の大部分を占めており、経済の多様性が欠如。また、知識集約型への産業構造転換を支える質の高い産業人材が不足しており、産業界のニーズに応じた質の高い技術者・高度人材を育てるための育成体制が不十分。 ＜安定的な経済発展の確保＞ 競争力強化のためには、ビジネス振興や起業家支援等の民間セクター開発が急務。海外から更なる投資を呼び込むためには、ビジネス環境整備が課題。			【開発課題への対応方針】 ＜高度人材育成＞ 知識集約型産業への産業構造の転換、経済多様性を支える質の高い産業人材の育成体制を構築するため、産学連携体制の強化、職業訓練カリキュラムの改善及びビジネス環境整備への支援を進める。 ＜安定的な経済発展の確保＞ スタートアップ支援や中小企業の金融アクセス改善、民間投資促進や中央銀行の金融政策立案・運営に係る支援を検討する。また市場の状況把握等の能力構築支援を行う。											
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム							支援額 （億円）	SDGs	備考		
	高度人材育成プログラム	カンボジアの持続的な経済成長のため、高付加価値産業の進行や経済多様化を実現するための質の高い高度人材の育成を支援する。具体的には、産学連携体制の強化、職業訓練カリキュラムの改善及びビジネス環境整備への支援を進める	人材育成奨学計画（H30）（5年型）	無償			-	-	-	-	-	3.42	4,8,9		
			人材育成奨学計画（H31）（5年型）	無償						-	-	-	3.39	4,8,9	
			人材育成奨学計画（R2）	無償						-	-	-	3.48	4,8,9	
			人材育成奨学計画（R3）	無償							-	-	3.62	4,8,9	
			人材育成奨学計画（R4）	無償									3.63	4,8,9	
			人材育成奨学計画（R5）	無償									3.66	4,8,9	
			人材育成奨学計画（R6）	無償									3.66	4,8,9	
			人材育成奨学計画（R7）	無償	-								4.42.	4,8,9	
			工学教育研究能力強化のための産学地ネットワーク強化プロジェクト	技プロ									3.11	4,8	
			産業人材育成アドバイザー	個別専門家	-					-	-	-		4,8	
			産業人材分野の課題別研修他	課題別研修他			-	-	-	-	-	-		4,8,9	
			社会福祉分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力案件	草の根無償			-	-	-	-	-	-	0.27	4,8	
			職業訓練分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO				-	-	-	-	-	1.22	4,8	
			産業人材分野 草の根技術協力	草の根技協				-	-	-	-	-		4,8	
			産業人材育成分野のJICA海外協力隊	JOCV							-	-	-		3,4,8
安定的な経済発展の確保プログラム	中小零細企業の育成及び経営強化を及び海外直接投資と現地企業の取引による産業力強化を支援する。中央銀行の市場把握能力及び金融調整能力強化を通じ、経済発展の安定性を支援する。	金融政策のための経済分析・調査・運営能力強化プロジェクト	技プロ					-	-	-		1,8			
		カンボジア日本人材開発センター起業家育成・ビジネス交流拠点機能拡充プロジェクトフェーズ3	技プロ	-						-	-	2.90	4,8,9		

重点分野 2 (中目標)		持続可能で公平な成長の実現												
開発課題 2－1 (小目標)	生活環境改善プログラム	【現状と課題】 ＜生活環境整備＞ 急速な経済成長と都市化により、水質汚濁、廃棄物増加等の環境問題が深刻化している。一方で水道普及率が低い都市や地方部も多く、水道へのアクセス改善等も課題。 ＜土地管理・都市機能強化＞ 経済発展とともに、都市域の拡大や、地方から都市への人口流入含む都市人口の増加がみられる中、慢性的な交通渋滞とそれに伴う大気汚染等、様々な都市課題が顕在化。また、都市機能強化に向けた課題として、スマートシティの推進や地理空間情報の利活用、建築基準の策定、土地紛争解決のための土地登記等の推進なども課題。 ＜教育・保健の質向上＞ 質の高い教員の不足や十分なカリキュラムの不足を主な原因とする基礎教育の質の低さが引き続き課題。貧富の差に関わらず、一定程度の質が確保された基礎教育を享受する機会を得る必要がある。 保健医療分野については、近年の疾病構造の変化に伴う非感染性疾患（NCDs）や高齢者ケアおよび栄養不良の二重負荷（過栄養、低栄養）が公衆衛生上の課題。2030年UHC達成に向け医療サービスの改善が急務。また、医療人材の数・質の不足や、首都圏と地方部の医療サービスの格差への対応も急務。					【開発課題への対応方針】 ＜生活環境整備＞ 住民の生活環境を改善するため、上下水道等の施設整備、廃棄物対策、水質汚濁等の環境問題への取組などへの支援を継続する。 ＜土地管理・都市機能の強化＞ 経済成長を牽引する首都ブノンペンにおいて、安全かつ快適な都市交通環境の整備に向け、都市交通マスタープランの策定や交通管理能力の強化を支援する。併せて、都市機能を強化するため、スマートシティへの取組や建築基準等への支援を継続するとともに、土地管理能力を強化するため、土地登記の推進や電子基準点等の測量能力・地理空間情報の利活用の強化に向けた支援を継続する。 ＜教育・保健の質向上＞ 引き続き教員養成大学の全国普及に向けた支援など基礎基礎教育の質向上に資する支援を実施する。 2030年のUHC達成を目指し、NCDsサービスの改善、保健人材育成、医療施設整備を含む保健システム強化に向けた支援を行う。保健省が目指す地域の中核病院となるべき病院に対するハード面での支援に加え、マニュアルの作成や実地研修といったソフト面の支援の両面で、地方部の医療水準向上に向けた取組を実施する。							
		協力プログラム名		協力プログラム概要		案件名		スキーム		2024年度2025年度2026年度2027年度2028年度2029年度		支援額 (億円)	SDGs	備考
生活環境整備プログラム	生活環境を改善するため、上下水道等の施設整備、廃棄物対策、水質汚濁等の環境問題への対応を支援。	ニロート上水道拡張計画準備調査			協準								6	
		スパイリエン上水道拡張計画			無償							27.86	6	
		タクマウ上水道拡張計画			無償							34.21	6	
		ブンブレック上水道拡張計画			無償							33.61	3,6	
		全国水道事業計画策定プロジェクト			開発計画							2.68	6,11	
		ブノンペン都庁及び公共事業・運輸省下水管理能力強化プロジェクトフェーズ2			技プロ							2.70	3,6	
		ブノンペン都洪水防御・排水改善計画準備調査			協準							3.03	11,13	
		ブノンペン都市圏における広域固形廃棄物管理マスタープラン策定プロジェクト			開発計画	- -							6,11	
		シェムリアップ上水道マスタープラン策定プロジェクト			開発計画	- -							6,11	
		水分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力案件			草の根無償							0.41	4,8	
		生活環境整備分野の草の根技術協			草の根技協								6,11	
		環境・水分野のJICA海外協力隊			JOCV	-							3,6,11,13	
		環境分野の日本NGO連携無償資金協力			日本NGO							0.28	4,8	
		環境管理分野の課題別研修他			課題別研修他	- -							6,11,13,15	
		パッケージ型小規模浄水バルク売りシステム導入による安全な水供給向上にかかる普及・実証・ビジネス化事業			普及・実証・ビジネス化事業								6	
		活性炭・活性炭製造技術導入にかかるビジネス化実証事業			普及・実証・ビジネス化事業								6	
		水質汚濁防止能力向上プロジェクト			技プロ								6,11	

		カンボジアにおける大気汚染リスク管理プラットフォームの構築	科学技術		-	-	-	-	3.79	3,11	
		東南アジアにおける世界遺産アーカイブの保護	マルチ		-	-	-	-	0.30百万USD	4,11,16	UNESCO、複数国対象案件のため累計金額記載
土地管理・都市機能強化プログラム	都市機能を強化するため、スマートシティへの取組や建築基準等への支援するとともに、土地管理能力を強化するため、土地登記の推進や電子基準点等の測量能力の強化に向けた支援。	ブノンペン都総合交通管理能力強化プロジェクト	技プロ		-	-	-	-	2.90	9,11	
		全国電子基準点網整備計画	無償		-	-	-	-	13.58	9	
		環境政策アドバイザー	個別専門家		-	-	-	-		6,11	
		シェムリアップにおける都市課題解決のためのスマートシティアプローチ実装プロジェクト	技プロ		-	-	-	-	2.41	11	
		土地管理・都市機能強化分野の課題別研修他	課題別研修他		-	-	-	-		3,6,11,13	
		広域病院整備計画	有償						211.04	3	
		非感染性疾患対策プロジェクト	技プロ		-	-	-	-	3.25	3,5,10	
教育・保健の質向上プログラム	教員の教授能力を高める取組を通じて、基礎教育の質全体を底上げする。UHC達成に向け、NCDs対策を中心とした保健サービスの質改善、保健人材育成、保健施設整備を含む保健システム強化に取り組む。	保健人材継続教育制度強化プロジェクト	技プロ		-	-	-	-	3.52	2,3,5,10	
		保健政策アドバイザー	個別専門家		-	-	-	-		3,10	
		感染性廃棄物管理改善計画	無償						4.36	3	
		シェムリアップ州病院改善計画	無償		-	-	-	-	21.53	3	
		保健医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力案件	草の根無償		-	-	-	-	0.34	4,8	
		保健医療分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO		-	-	-	-	0.34	4,8	
		保健分野の草の根技術協力	草の根技協							3,10	
		保健医療のJICA海外協力隊	JOCV		-	-	-	-		3	
		保健分野の課題別研修他	課題別研修他		-	-	-	-		3,5,10	
		教員養成大学強化を通じた基礎教育の質改善プロジェクト	技プロ		-	-	-	-		4,8	
		教育政策アドバイザー	個別専門家							4,8	
		コンボンチャム州における教員養成大学設立計画準備調査	協準		-	-	-	-		4,8	
		教育人材分野 草の根技術協力	草の根技協							4,8	

			教育分野の国別研修	国別研修						-	-	-		4,8	
			教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力案件	草の根無償		-	-	-	-	-	-	-	0.38	4,8	
			教育分野の草の根文化無償案件	草の根文化		-	-	-	-	-	-	-	0.05	4,8	
			社会福祉分野の草の根文化無償案件	草の根文化		-	-	-	-	-	-	-	0.10	4,8	
			教育分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO				-	-	-	-	-	2.08	4,8	
開発課題 2-2 (小目標)	地方活性化	【現状と課題】 ＜農業・地方開発＞ 農業分野はGDPの約23%、労働人口の35%を占め、農業は地方の主要生計手段となっている。特に主食であるコメの増産が図られてきたが、コメの輸出量は少なく、園芸作物及び水産物の輸入に多くを依存するなど農家所得は低水準でとどまっている。灌漑施設、収穫後処理・加工施設、地方道路等のインフラが不十分であることが農家所得の向上の阻害要因となっており、都市と農村部の所得格差が拡大している。	【開発課題への対応方針】 ＜農業・地方開発＞ 農家所得向上及び主要産業としての農業セクター振興を図るため、民間企業との連携による相乗効果創出を図りつつ、灌漑・排水施設整備による農業生産性の向上、農作物及び養殖魚のバリューチェーンの構築、改善を支援する。												
			協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	支援額 (億円)	SDGs	備考
			農業・地方開発プログラム	支援対象地域の優先度を特定した上で、洪水対策への寄与も念頭に灌漑・排水施設の整備・改修を実施。併せて灌漑排水国家標準設計基準の策定や流域水資源利用・水利組合の機能向上への支援を実施。フードバリューチェーン構築に向けて、生産・収穫後処理・加工の技術改善や小規模農家や農家グループのビジネス運営・管理能力の強化を支援。	ブノンベン南西部灌漑・排水施設改修・改良事業計画	有償				-	-	-	56.06	1,2	
					ブノンベン南西部灌漑・排水施設改修・改良事業計画（第二期）	有償				-	-	-	24.82	1,2	
					灌漑・排水施設改良事業計画（第一期）	協準	-			-	-	-		1,2,6	
					灌漑排水国家標準設計基準策定プロジェクト	技プロ			-	-	-	-	4.85	1,2,6	
					小規模農家のための園芸作物に関するフードバリューチェーン構築プロジェクト	技プロ						-		1,2	
					洪水対策・灌漑排水システム開発政策アドバイザー	個別専門家	-	-			-	-		1,2	
					農業・農村開発分野の草の根技術協力	草の根技協			-	-	-	-		1,2	
					トンレサップ湖西部地域における広域的水管理システムによる水田からの温室効果ガス排出削減技術の開発と社会実装（SATREPS）	科学技術						-	3.80	1,2	
					地雷撤去地域の農業を復興するルーメンハイブリッド型メタン発酵システムおよび新規選択的CO2吸着技術による電力・有機肥料生産（SATREPS）	科学技術							3.90	1,2	
					雨水依存地域における干ばつ時の水資源確保のための普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業				-	-	-		6,13	
					農業分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力案件	草の根無償		-	-	-	-	-	0.25	1,2,13	

重点分野3 (中目標)	安心・安全な社会の実現												
開発課題3-1 (小目標) ガバナンスの強化	【現状と課題】 ＜司法・行政機能強化＞ カンボジア政府は、「第1次五角形戦略」（2023年）の核として、「ガバナンス改革・強化」を掲げているが、歴史的な背景から法整備や行政機能のガバナンス体制は依然として脆弱であり、ガバナンス指標（WGI）は全世界で下位24%程度（2021年）に位置している。特に市民生活に直接的に影響を与える司法改革及び地方分権改革は、喫緊の課題。						【開発課題への対応方針】 ＜司法・行政機能強化＞ 市民の自由及び権利を保障するため、法曹人材の民事法に関する解釈・適用能力の向上及び司法アクセスの強化を図る。また、地方分権をはじめとする行政改革を推進するカンボジア政府の政策・計画策定及び組織・人材開発に関する能力強化を目指す。						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	支援額 (億円)	SDGs	備考
	司法・行政機能強化プログラム	司法分野では、王立司法学院（RAJC）教官の能力向上及び知見の組織的蓄積を図る等、同学院の教育体制強化にかかる支援を継続する。行政機能強化では、地方分権化・業務分散化改革を推進する。	法・司法分野人材育成プロジェクト	技プロ					-	-	3.42	10,16	
			地方行政政策アドバイザー	個別専門家				-	-	-		1,10,16	
			ガバナンス分野の課題別研修他	課題別研修他				-	-	-		1,10,16	
開発課題3-2 (小目標) 脆弱性の克服	【現状と課題】 ＜地雷・不発弾除去＞ カンボジアは、2030年までに国内において現在判明している対人地雷の除去を完了させるべく地雷対策を進めているが、人口増加に伴い未確認の地雷・不発弾が多く残されている地域における農地転換などの土地利用が進んでいくと考えられ、地雷・不発弾は依然、生命・財産への脅威かつ持続可能で包摂的な社会の構築の阻害要因となっている。また、カンボジアは第三国に地雷・不発弾対策のノウハウを教育・訓練することが期待されているが、自立的に展開するためのカンボジア地雷対策センター（CMAC）の組織能力の強化が課題である。 ＜新たな社会課題の克服＞ 急速な経済開発に伴い、サイバーセキュリティ対策等の新たな社会的課題が顕在化してきている。						【開発課題への対応方針】 ＜地雷・不発弾除去＞ 既存の地雷・不発弾に加え、今後の経済活動の拡大に伴い新たに確認される地雷・不発弾の除去を支援するとともに、第三国に対して自立的かつ継続的に研修サービスを提供できるよう組織体制の強化を支援する。 ＜新たな社会課題の克服＞ 新たな優先分野であるデジタル分野における総合的な支援策の検討をアセスメントを通じて実施し、さらにサイバーセキュリティ・レジリエントな社会を目指す。また、近年さらに問題視される社会的課題（海洋保安、人身取引）への支援を行う。						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	支援額 (億円)	SDGs	備考
	地雷・不発弾除去プログラム	安全かつ効率的に地雷・不発弾除去を行うために必要な機材の整備及び処理事業の運営などについて支援するとともに、地雷・不発弾による脅威が存在する第三国への高い技術力を活かした国際貢献について支援する。	カンボジア地雷対策センター研修複合施設及び広報施設建設計画	無償			-	-	-	-	27.51	16	
			第二次統合的地雷除去及び地雷被害者支援計画	無償			-	-	-	-	20.00	1,16	
			カンボジア地雷対策センター組織強化プロジェクト	技プロ		-	-	-	-	-		16	
			カンボジア地雷対策センター組織強化プロジェクト フェーズ2	技プロ	-				-	-		16	
			経済社会開発計画（地雷除去関連機材）	無償	-			-	-	-	11.66	16	
			地雷・不発弾分野の第三国研修	第三国研修					-	-		16	
			地雷分野の草の根技術協力	草の根技協			-	-	-	-		16	
			地雷分野のJICA海外協力隊	JOCV	-	-			-	-		16	
			地雷・不発弾除去分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力案件	草の根無償			-	-	-	-	0.70	9	
			地雷・不発弾除去分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO	-			-	-	-	1.81	1,16	
	新たな社会課題の克服プログラム	新たな社会的課題に対する支援や人材育成への支援を行う。サイバーセキュリティ水準向上のための技術・能力開発を継続支援する。	サイバーセキュリティ能力向上プロジェクト	技プロ				-	-	-	2.77	4,5,8,9,17	
			経済社会開発計画（サイバーセキュリティシステム構築のための機材供与）	無償				-	-	-	11.50	4,5,8,9,17	

通信・ICT政策アドバイザー	個別専門家	-	-			-	-	-	8,9,17	
人身取引被害者当事者への支援能力向上プロジェクト	技プロ					-	-	-	1,3,4,5,8,11	
ブノンペン都補装具部品製造工場機材整備計画	草の根無償	-	-	-		-	-	-	0.08	1,3,5
ICT分野の課題別研修他	課題別研修他							-	4,5,8,9,17	
アジア地域における職場のメンタルヘルス対策の促進を通じたディーセント・ワークの実現推進事業	マルチ	-				-	-	-	8	厚生労働省国際労働機関(ILO)提出事業
東南アジアにおける海外労働者の人間的尊厳を守るための共創ネットワーク	マルチ	-				-	-	-	8	厚生労働省国際労働機関(ILO)提出事業